

保育目標		個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う。			
年間区分		I 期(4月～6月)	II 期(7月～9月)	III 期(10月～12月)	IV 期(1月～3月)
ねらい		○一人ひとりの生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れさせる	○一人ひとりの要求や思いを言葉や笑顔で受け止めることにより、大人への信頼感を育てる	○個人差に留意しながら一人ひとりの発達に合った全身運動が十分にできるようにする	○一人ひとりの子どもの生理的欲求が満たされるようにし、1歳児クラスの生活リズムへと移行できるようにする
養護	生命	○家庭との連絡を密に取りながら、子ども一人ひとりの健康状態を把握する ○生理的欲求を満たし気持ちよく生活できるようにする	○安心できる環境や大人の下で、一人ひとりがゆったりと過ごし、授乳や睡眠などの生活リズムが整うようにする	○個別懇談や日常の中での保護者との話し合いにより、一人ひとりの発育・発達に応じて運動機能が発達するよう援助する	○子どもが自分でやりたいという気持ちを受け止め、援助しながら満足感が得られるようにする
	情緒	○新しい環境に慣れるまで、できるだけスキンシップを多くし、安心して過ごせるようにする	○特定の大人と情緒的な絆が深まる一方で、人見知りをするようになるので、不安にならないようにし、豊かな感情が育つようにする	○身近な人や物に興味を持ったことを一緒に喜ぶことで、愛されている実感を持たせる	○安心できる大人とのかかわりをのなかで、自分の思いを表し受けとめてもらえる安心感をもって園生活を楽しめるようにする。
教育	健康	○外気に触れる心地よさ、のびのびと手足を動かす楽しさを知る	○温度・湿度などにより衣服の調節をしてもらい、気持ちよく過ごす	○安全に配慮してもらいながら体を十分に動かす楽しさを得る	○立つ・つたい歩き等の運動を積極的に行う
	人間関係	○愛情豊かな特定の大人と過ごすことを喜ぶ	○身近な人との信頼関係を育み、人間関係の基礎を作る	○一人遊びが中心になるが、徐々に友達の存在に気づいていく	○見守られているという安心感の中で、経験を重ねてゆく
	環境	○散歩など外にでかけて、色々なものをたくさん見る	○興味を持った好きな遊びに落ち着いて取り組もうとする	○色々な玩具を自分で選び、遊ぶ	○異年齢児との交流を喜び、積極的に関わってゆく
	言葉	○手足や身体にやさしく触れてもらったり、言葉をかけてもらったりして、喃語を発する	○大人の簡単な言葉を理解し、喃語でこたえたり身振りで伝えようとする	○わらべうたなどをリズムにのせて歌い、興味を持って簡単なフレーズを覚える	○保育士の言葉を真似ようとして、好きな歌の歌詞の一部を大きな声で歌ったりする
	表現	○音の出る玩具・感触のよいものに興味をもつ	○泣く・笑うなどによる気持ちの表現を大人に代弁してもらおう	○大人の歌に合わせて体を揺らしたり、リズムをとったりする	○身近な小動物や花に興味を持ち、泣き声などをまねする
食育		○特定の大人との信頼関係の下で優しく見守られながらミルクを飲む。又は離乳食を食べる	○一人ひとりの発育・発達状態を把握し(アレルギーマ含む)家庭・保育士との連携をとる	○色々な味に慣れ、食事の時間を喜び、自ら進んで椅子に座ろうとする	○いろいろな食物に関心を持ち、進んで食べようとする ○スプーンを使って食べようと意欲を見せる。手づかみでもかまわない
健康・安全		○保育士(複数担任)の連携および栄養士・看護師との協力体制をとり、保健及び安全面に十分に配慮する ○身体測定(毎月)・健康診断(毎週)の結果を「おたより帳」により知らせる			
環境設定		○全身運動ができる遊び場の設定や玩具を用意する	○散歩や戸外遊びにより自然の中で過ごす心地よさを知らせる。	○絵本や紙芝居・わらべうた・玩具等、興味を持ち、そうなものを用意し色々な体験をさせる	○担任以外の保育士や異年齢児との交流の場を設定する
配慮事項		○集団の中でも1対1のスキンシップを心がけ気持ちの安定を図る			
保護者等への支援		○保護者の思いを受けとめ、「共に育てる」という姿勢を伝える	○園の行事に参加することで、安心感や信頼感を持ってもらい、子育ての自信につなげる	○子育て支援日に参加してもらい、育児相談や話し相手・親の仲間作りの支援をする。	○保護者との信頼関係の下で、子どもの成長を共に喜び合う。
行事		○クラス懇談会、○個人面談 ○歯科検診	○園児引取訓練、○個人面談	○クラス懇談会、○いも煮会 ○クリスマス会	○節分豆まき、○ひな祭り会 ○クラス懇談会

ひめゆり保育園

年間指導計画案

【1歳児あひる組】

保育目標		安心できる保育者との関係の下で自分でやろうとする気持ちを培う			
年間区分		I 期(4月～6月)	II 期(7月～9月)	III 期(10月～12月)	IV 期(1月～3月)
ねらい		○保育者との信頼関係を築き、初めての体験にも喜んで取り組もうとする ○保育園の生活リズムに慣れる	○保育者や友達に興味を持ち、積極的に関わろうとする ○自分の好きな遊びを見つけて、十分に楽しむ	○身の回りの事に興味を持ち、自分でしようとする ○地域の人との関わりを通して、いろいろな存在に気づく	○きりん組に進級する事に期待や喜びが持てるようになる ○生活の流れがわかり、進んで行動しようとする
養護	生命	○家庭との連携を取りながら、一人ひとりの健康状態や発育・発達状態を把握し、無理なく園生活を過ごせるようになる	○一人ひとりの関わりを十分に持ち、生理的欲求が満たされるようにする ○事故やケガのないように見守りながら、子どもの興味が広がり、深まるように関わっていく。	○室内外の気温に留意し、衣服調整をこまめに行い快適に過ごせるようにする ○自分でやりたいという気持ちを引き出し、それを十分に受け止める	○自分でやろうとする気持ちを受け止め、満足感が得られるように配慮しながら援助していく
	情緒	○保護者との連絡を密にし、信頼関係を築くことにより子どもの心の安定が図れるようにする	○一語文身振り手振りなどの表現を理解し、本人の興味や気持ちに優しく応じ、満足感が得られるように接する	○様々な音楽や絵本、紙芝居などを通して、豊かな感情を育ていく ○十分なスキンシップにより心の安定を図れるようにする	○友達や周囲の人の存在を認め、興味や関心が高まり、かかわりの中から自己肯定感や信頼関係がはぐくまれるようにする
教育	健康	○身近な人や物に自発的な働きかけ、好きな遊びを見つけてじっくりと遊ぶ	○水遊びや外遊びを存分に楽しみ、水分補給や急速を十分にとる	○固定遊具やボールなどの用具を使った運動遊びを楽しむ	○玩具を仲立ちにした見立て遊びを友達や保育者と楽しみ、絆を深める
	人間関係	○保育者等の身近な大人に関わり、興味や関心を持つ	○友達と同じ遊びを楽しみ、親しみを感じて関わる	○好きなお友達と好きな遊びをじっくりと楽しみ、一緒に過ごす喜びを感じる	○友達の名前を親しみを込めて呼び、仲間意識を持つ ○物事の善悪に関心を持つ
	環境	○戸外遊びを通して、花や昆虫などと触れ合う	○「危ない」などの静止の意味を知り、安全に遊ぶ	○自分の身体に興味を持ち、部位の名称がわかるようになる	○自分のものと友達のものとの区別がつくようになり、自分の持ち物を大切にす
	言葉	○保育者のゆっくりとした発音を真似したり、片言や身振りで自分の思いを伝えようとする	○季節の歌や手遊びを楽しむ中で、様々な言葉に触れる	○知っている歌を大きな声で歌おうとする ○気に入ったフレーズや言葉を楽しく話す	○友達や保育士との会話を楽しむ ○二語文が増えて会話が弾むようになる
	表現	○自由な表現を保育者と楽しむ ○友達の行動に興味を持つ	○水の冷たさや心地よさを感じ、友達と思いを共有する	○気に入った楽器を手に取り、様々な音色親しむ	○自分のイメージを膨らませて、様々な素材を実物に見立て、想像の世界を楽しむ
食育		○保育者や友達と楽しい雰囲気の中で咀嚼することを意識して食事する ○正しくスプーンやフォークを持ち、正しい姿勢で食事する	○種や苗の成長過程を見聞きする中で、触れ合う機会を持つ ○苦手な物も励まされながら頑張って食べようとする	○皿に残った食べ物を集めて残さずに食べようとする ○食材に興味を持ち、楽しく食事する	○こぼしながらでも、一人で最後まで食事しようとする ○果物の皮と実の違いがわかるようになる
健康・安全		○保育者の誘導に従って避難場所まで避難する事を知る	○非常ベル(サイレン)の意味を知り、その際の行動を知る。	○保育者の言葉を聞いて、すばやく避難行動が出来るようになる	○保育者の言葉を聞いて、すばやく避難行動が出来るようになる
環境設定		○保育室内外の危険箇所を十分把握し、活動前に保育者間で共通理解を図っておく	○水遊びができるように環境を整えるほか、手作り玩具なども加えていく	○園周辺の危険箇所の把握に努め、安全を確保しながら自然と十分に触れ合う	○2歳児クラスの保育室で遊ぶ機会を設け、進級への憧れや期待が持てるようにする
配慮事項		○保護者との連携を密にし、心身の状態を理解して安心して過ごせるようにする	○子どもの興味ややる気に応じて、援助内容を決める	○自分でやりたいという意欲が高まるので、満足感がえられるような援助を心掛ける。	○出来ている所をたくさん誉めて自信につなげていき、進級への期待が持てるようにする
保護者等への支援		○おたより帳や毎日の受渡しの中で対話に心掛け、毎日の様子を細かく伝えるとともに不安や疑問を解消するように心掛ける	○嘔みつきや引掻きは成長段階で生じるものであることを説明し、クラスとしての対応を伝える	○嘔みつきや引掻きは成長段階で生じるものであることを説明し、クラスとしての対応を伝える	○子どもの一年間の成長を伝え、一緒に喜ぶ
行事		○クラス懇談会、○個人面談 ○園外保育、○歯科検診	○じゃが芋掘り、○園児引取訓練 ○個人面談	○クラス懇談会、○さつま芋掘り ○いも煮会、○クリスマス会	○お餅つき、○節分豆まき ○ひな祭り会、○クラス懇談会

ひめゆり保育園

年間指導計画案

【2歳児きりん組】

保育目標		基本的生活習慣を身につけ、自分の思いを言葉で表現できるようになる。			
年間区分		I 期(4月～6月)	II 期(7月～9月)	III 期(10月～12月)	IV 期(1月～3月)
ねらい		○新しい場や保育者、友達に慣れ、喜んで園生活を送る ○自分のクラスや持ち物の置き場がわかる	○水の冷たさや砂の気持ちよさを味わう ○保育者に手伝ってもらいながらも、簡単な身の回りのことを自分でしようとする	○色や形に関心を示し、様々な素材に触れる事を楽しむ ○友達との関わりを楽しみながらルールを覚える	○友達との関わりを深め、ごっこ遊びや集団遊びなどを楽しむ ○新しい保育園に進級することへの喜びや期待感を持つ
養護	生命	○食事、排泄、午睡などが安定してできるように、一人ひとりに応じて適切に対応していく	○個々の健康状態に気を配り、水分補給や活動と休息のバランスに配慮する	○体調や気候に合わせて、衣服を調節する習慣を身につける	○個々に合わせて基本的生活習慣の習得を援助し、一人でできた喜びを味わい自信が持てるようにする
	情緒	○不安や要求を受け止めてもらい、安心して自分の気持ちを表せるように援助する	○自分でやりたがる時は見守り、手助けが必要な時は援助するなど、自分でしようとする気持ちを大切に	○「順番」「交代」「貸して」などの約束を守ること、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように仲立ちとなる	○自分のものと友達のものごっこ遊びがわかる、友達を意識しながら遊んだり行動したりできるようになる
教育	健康	○手洗い、手拭きを自分でする	○食後に自分で歯磨きをする	○戸外から帰ったらうがいをする	○鼻汁が出たら自分でかもうとする
	人間関係	○保育者や友達と、安定した関わりの中で安心して過ごす	○保育士に気持ちを受け止めてもらいながら、少しずつ他者との関わりを持つようとする	○ぶつかり合いを経験することで、相手の要求に気づいたり解かろうとしたりする	○簡単なごっこ遊びで少しずつ相手を意識し、共通の遊びを進めようとする
	環境	○自分の持ち物やロッカー、靴箱などに興味を示し、覚える	○水あそび、泥んこ遊びなど夏ならではの遊びを楽しむ	○いろいろな公園に散歩に出かけ、自然物を見たり触れたりする	○好きな玩具に進んで関わり、それを使って友達とごっこ遊びを楽しむ
	言葉	○手遊びや歌を保育者や友達と一緒に楽しむ	○絵本を自分で見たり聞いたりして楽しむ中で、言葉を感じていく	○遊びを通して身の回りのいろいろな物の名前を覚える	○自分の思いや欲求を言葉や身振りで相手に伝える
	表現	○ハサミ、のり、クレヨンなどの使い方を覚える	○音楽に合わせて全身を使って踊ったり、表現したりする	○絵本の登場人物や動物になりきって遊ぶ	○保育者と一緒にごっこ遊びやままごと遊びを楽しむ
食育		○楽しい雰囲気の中で適量を無理せず食べる ○ミニトマトやピーマンなどの栽培を通して食材に興味を持つ	○よく噛んで最後まで食べる ○園で収穫した野菜(ミニトマト、ナス、ピーマンなど)を食べる	○苦手な物でも食べてみようとする ○芋掘りに参加し、自分達で掘った芋を食べる	○スプーンやフォークを使って一人でこぼさずに食べる ○行事食(お餅つき、ひな祭り会など)を楽しんで食べる
健康・安全		○保育者の誘導に従って避難場所まで避難する事を知る	○非常ベル(サイレン)の意味を知り、その際の行動を知る	○保育者の言葉を聞いて、すばやく避難行動が出来るようになる	○保育者の言葉を聞いて、すばやく避難行動が出来るようになる
環境設定		○玩具の置き場に絵をつけて示すなど、物の置き場所が解かりやすいようにする	○動と静のバランスを取りながら活動できるようにするため、ゆっくりと寛げるような場所を用意する	○秋の自然の変化に気づけるよう、様々な自然物に触れさせる	○室内の温度と湿度を保ちながら、室内でも快適に遊べる環境づくりに配慮する
配慮事項		○新入園児は保育者の側を離れられないこともあるので、しっかりと寄り添い気持ちを受け止める	○暑さで疲れやすくなっているため、休息や水分を十分にとる	○手洗い、うがいの習慣が身につくよう、毎日丁寧に指導する	○卒園に向けて一人ひとりの生活習慣や発達の実熟度を再確認する
保護者等への支援		○おたより帳や送迎の時間を利用して、園での様子を伝え安心感を持ってもらう	○長期の休み明けなど、子どもが不安定にならないよう連携と取り合う	○体調や気温に合わせて調節しやすい衣服を用意してもらうよう伝える	○進級先の保育園についての情報や幼児クラスとしての生活の違いについて知らせる
行事		○クラス懇談会、○個人面談 ○園外保育、○歯科検診	○じゃが芋掘り、○園児引取訓練 ○個人面談	○クラス懇談会、○さつま芋掘り ○いも煮会、○クリスマス会	○お餅つき、○節分豆まき、○ひな祭り会、○クラス懇談会、○卒園式